

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2022年 3月24日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
<p>① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)</p> <p>Observation of induced transparency in relativistic laser-produced plasma created by two-side solid target irradiation (固体ターゲット両面照射によって生成された相対論的レーザー生成プラズマにおける誘導透明性の観測)</p>				
<p>② 発表会議名</p> <p>5th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics 2021</p> <p style="text-align: center;">発表場所(開催都市) : Zoom 発表日 : 2021年9月27日-10月1日</p>				
<p>③ 著者(所属)</p> <p>T. Pikuz^{1,2}, M. A. Alkhimova², S. N. Ryazantsev², I. Yu. Skobelev^{2,3}, S. Pikuz^{2,3}, A. S. Martynenko², M. V. Sedov², A. Sagisaka⁴, K. Ogura⁴, Ko. Kondo⁴, Y. Miyasaka⁴, A. Kon⁴, M. Ishino⁴, M. Nishikino⁴, M. Kando⁴, H. Kiriya⁴, A. S. Pirozhkov⁴, K. Kondo⁴, R. Matsui⁵, M. Ota⁶, Y. Kuramitsu⁷, Y. Kishimoto⁵, T. Kawachi⁴, R. Kodama^{6,7}, Y. Fukuda⁴, Y. Sakawa⁶</p> <p>¹ Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, Osaka University, ² Joint Institute for High Temperature RAS, ³ National Research Nuclear University (MEPhI), ⁴ Kansai Photon Science Institute, QST, ⁵ Graduate School of Energy Science, Kyoto University, ⁶ Institute of Laser Engineering, Osaka University, ⁷ Graduate School of Engineering, Osaka University</p>				
<p>④ 備考</p>				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2022年 3月24日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
<p>① 標題（英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。）</p> <p>X-ray spectroscopy of relativistic plasma with controlled preplasma formation at J-KAREN-P experiments (J-KAREN-P 実験における制御されたプレプラズマによる相対論的プラズマの X 線分光)</p>				
<p>② 発表会議名</p> <p>International Conference on High Energy Density Science 2021 (HEDS2021)</p> <p style="text-align: center;">発表場所(開催都市) : Zoom 発表日 : 2021年4月19日</p>				
<p>③ 著者(所属)</p> <p>T. Pikuz^{1,2}, M. A. Alkhimova², S.N. Ryazantsev², I. Yu. Skobelev^{2,3}, S. Pikuz^{2,3}, S. Martynenko², M. V. Sedov², A. N. Shatokhin^{4,5}, E. A. Vishnyakov⁴, A. Sagisaka⁶, K. Ogura⁶, B. Gonzalez Izquierdo⁶, Ko. Kondo⁶, Y. Miyasaka⁶, A. Kon⁶, M. Ishino⁶, M. Nishikino⁶, T.Zh. Esirkepov⁶, J.K. Koga⁶, M. Kando⁶, H. Kiriyama⁶, K. Kondo⁶, Kodama^{7,8}, T. Kawachi⁶, Y. Fukuda⁶, A.S. Pirozhkov⁶, and Y. Sakawa⁷</p> <p>1Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, Osaka University, Osaka, Japan 2Joint Institute for High Temperature, RAS, Russia 3National Research Nuclear University (MEPhI), Russia 4P.N. Lebedev Physical Institute, RAS, Russia 5Moscow Institute of Physics and Technology, Russia 6Kansai Photon Science Institute (KPSI), QST, Japan 7Institute of Laser Engineering (ILE), Osaka University, Japan 8Graduate School of Engineering, Osaka University, Japan</p>				
<p>④ 備考</p>				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2022年 3月24日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)				
高強度 J-KAREN-P レーザーを用いた無衝突静電衝撃波によるイオン加速				
② 発表会議名				
38回 プラズマ・核融合学会 年会 (2021年)				
発表場所(開催都市) : Zoom			発表日 : 2021年11月24日	
③ 著者(所属)				
倉本 織羽乃 1)、泉 智大 1)、中川 義治 1)、太田 雅人 1)、江頭 俊輔 1)、T. Pikuz1)、A. Morace1)、南 卓海 1)、檜原 崇正 1)、境 健太郎 1)、西本 貴博 1)、高野 晟輝 1)、蔵満 康浩 1)、R. Kumar1)、近藤 康太郎 2)、A. Pirozhkov2)、桐山 博光 2)、森田 太智 3)、高木 麻理子 3)、浅井 孝文 4)、中川 貴斗 4)、坂本 溪太 4)、清水 和輝 4)、金崎 真聡 4)、神野 智史 5)、M. A. Alkhimova 6)、A. McIlvenny 7)、O. McCusker 7)、M. Borghesi 7)、福田 裕二 2)、坂和 洋一 1)				
1)阪大、2)量研、3)九大、4)神大、5)東大、6)JIHT RAS, Russia、7)Queen's U Belfast, UK				
④ 備考				

量施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2022年 3月24日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)				
高強度レーザーを用いた無衝突衝撃波によるイオン加速				
② 発表会議名				
日本物理学会 2020年秋季大会				
発表場所(開催都市) : Zoom			発表日 : 2020年9月11日	
③ 著者(所属)				
中川義治, 泉智大, 太田雅人, 江頭俊輔, Alessio Morace, 南卓海 ^A , 檜原崇正 ^A , 境健太郎 ^A , 西本貴博 ^A , 高野晟輝 ^A , 蔵満康浩 ^A , 金崎真聡 ^B , 浅井孝文 ^B , 中川貴斗 ^B , 坂本溪太 ^B , 清水和輝 ^B , 神野智史 ^C , A. McIlvenny ^D , O. McCusker ^D , M. Borghesi ^D , 近藤康太郎 ^E , A. S. Pirozhkov ^E , 桐山博光 ^E , M. A. Alkhimova ^F , T. Pikuz, 福田祐仁 ^E , 坂和洋一				
阪大レーザー, 阪大院工 ^A , 神大院海事 ^B , 東大院工 ^C , Queen's University Belfast, UK ^D , 量研関西 ^E , Russian Academy of Sciences, Russia ^F				
④ 備考				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題 1 件、発表 1 件についてご記入ください。

提出日	2022 年 3 月 24 日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
① 標題（英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。） 無衝突衝撃波の物理とレーザーイオン加速				
② 発表会議名 日本物理学会 第 76 回年次大会（2021 年） 領域 2, ビーム物理領域 シンポジウム 宇宙線加速原理の導入による「光速」に迫るレーザーイオン加速への挑戦 -電子の相対論からイオンの相対論へ- 発表場所(開催都市) : Zoom 発表日 : 2021 年 3 月 13 日				
③ 著者(所属) 坂和洋一(大阪大学レーザー科学研究所)				
④ 備考				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題 1 件、発表 1 件についてご記入ください。

提出日	2022 年 3 月 24 日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2019A-K04	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	無衝突衝撃波による準単色イオン生成の物理機構解明			
研究代表者 氏名	坂和洋一	所属	大阪大学レーザー科学研究所	
① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)				
多種イオンプラズマ中の静電的無衝突衝撃波の生成				
② 発表会議名				
日本物理学会 第 77 回年次大会(2022 年) 領域 2 シンポジウム				
「多粒子種(多元)プラズマにおける 創発的機能に関する研究の新展開」				
発表場所(開催都市) : Zoom			発表日 : 2022 年 3 月 18 日	
③ 著者(所属)				
坂和洋一(大阪大学レーザー科学研究所)				
④ 備考				